

「出る杭」を育てる環境が 新しい価値を創出する

—お茶の水女子大学附属図書館と
学生・キャリア支援センターの連携を中心に—



2013/6/20
お茶の水女子大学附属図書館
図書・情報チームリーダー
森 いづみ

本日の内容

お茶の水女子大学の概要・理念

学生・キャリア支援センターとの連携

- 学生・キャリア支援センターとは
 - キャリア支援との連携： キャリアカフェ
 - キャリア教育との連携： LiSAプログラム
 - 学生支援との連携： 二つの commons

新しい価値の創出

- 図書館であることの意味
- 「出る杭」を育てる

お茶の水女子大学の概要

- 学生：約3,000名＋ α
 - 学部生：約2,000名 大学院生：約1,000名
 - 研究生、科目等履修生、聴講生、etc.
- 教職員：約500名＋ α
 - 教員：約300名 職員：約100名 附属学校園：約100名
 - リサーチ・フェロー、アソシエイト・フェロー、非常勤講師
 - アカデミック・アシスタント、ティーチング・アシスタント
- キャンパス内に様々な世代の学びの場が集結
 - ナーサリー(保育園)、幼稚園、小学校、中学校、高校(女子)
- 図書館利用状況
 - 1日の平均入館者数：約1,000名 ピーク時：約2,000名
 - ラーニング・commons/キャリアカフェ開設(06→09年度)入館者60%増

お茶の水女子大学の理念

- 大学憲章に掲げられた標語
 - 「お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する。」
- 校歌「みがかずば」
 - みがかずば 玉もかがみも なにかせん
学びの道も かくこそありけれ
- 附属図書館の理念
 - 「お茶の水女子大学附属図書館は、時間と空間を超える知的交流の場であり、次世代の知を創造し発信する学術情報基盤として機能する。」



ドリンク
自販機



ラーニング・
コモンズ
パソコン70台

キャリア・カフェ
進路相談や
各種イベントも



- ・1階はオープンなコミュニケーションスペース
- ・誰でも入館可能
- ・おしゃべり、息抜き、飲みもの持ち込みも可
- ・イベント利用も歓迎



お茶大図書館見取り図

館内全体図



クワイエット・スタディスペース 5

約100の座席を有する自習室です。

ノートパソコン自動貸出ロッカー 6

学生証でノートパソコンを借りることができます。図書館内で利用できます。2階閲覧スペース内にもあります。

お持ち帰りコーナー 7

本や雑誌、雑貨など、自由に持ち帰ることのできるものが置いてあります。

ロッカー 8

当日中の利用に限り、手荷物を預けることができます。書庫を利用するときには、カバンをロッカーに入れてください。

1 ラウンジ

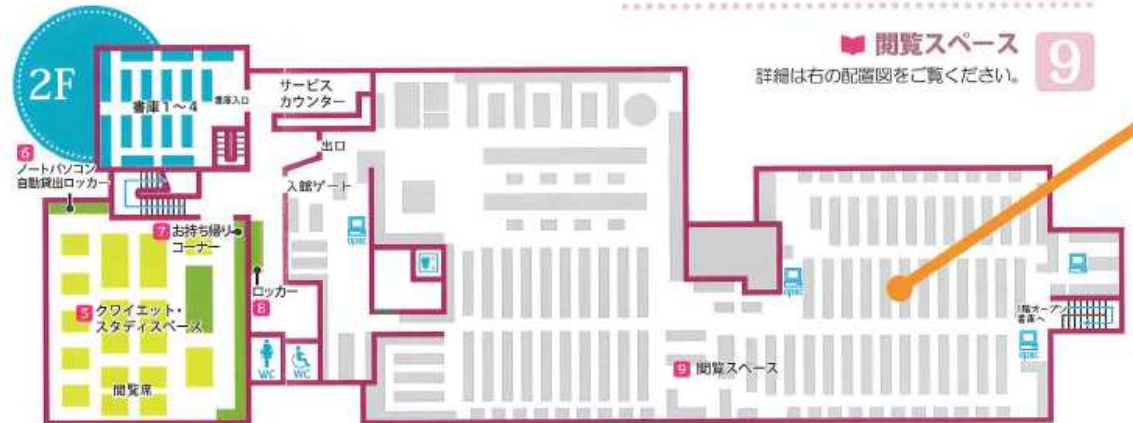
週刊誌や情報誌の置いてある、くつろぎのスペースです。ピアノコンサートも行われます。

2 キャリアカフェ

コーヒーを飲みながら話すことのできる、グループ学習に最適な空間です。講演会など各種イベントも行われます。

3 ラーニング・commons

学生用のパソコンと持ち込みパソコンコーナーが設置されています。ラーニング・アドバイザーが質問や相談にこたえます。



閲覧スペース 9

詳細は右の配置図をご覧ください。

閲覧ゲート: 身分証/
利用カードが必要です



- ・2階は学習のためのスペース
- ・本学蔵書68万冊のほぼ半数を所蔵
- ・文庫、新書、ビデオ、DVD等もあり



図書館利用に関する
質問は何でも
2階カウンターへ



貸出ロッカーPC
館内利用: 75台



視聴覚コーナー



学生・キャリア支援センターと図書館の関係

• 主な出来事

- 2007年4月 **図書館内にラーニングcommons**開設
→「21世紀型文理融合リベラルアーツ」プログラムの一環
- 2007年夏 現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)
「科学的思考力と表現力で築く「私の履歴書」」採択(平成19年度～21年度)
- 2007年12月 **図書館内にキャリアカフェ**開設
→現代GPのプログラムとして**キャリアアドバイザー**による相談・イベント多数実施
- 2008年夏 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)
「「出る杭」を育てる～企業で女性が輝くための学生支援～」採択
(平成20年度～平成23年度)
- 2009年4月 **キャリア支援センター**設立
→現代GP終了後、**相談業務等はキャリア支援センターに引継・発展**
- 2011年4月 学生寮 お茶大SCC(Student Community Commons)設立
→学修プログラム開設
- 2013年4月 学生・キャリア支援センターに改組
→学生支援GP終了後も、**キャリア支援は継続・発展**
→**お茶大SCC学修プログラム「お茶大二つのcommons」**(学長講演)

学生・キャリア支援センターとは

 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

<http://www2.cf.ocha.ac.jp/scsc/>

学生生活支援

奨学金制度による経済面での支援や、専門のカウンセラーによる学生相談など、あらゆる点から学生生活を支援しています。

キャリア支援

ガイダンスから実践的な指導、個別相談まで、進路・就職に関するさまざまな支援事業を、年間をとおして行っています。

キャリア教育

「キャリアデザインプログラム」をとおして、自分にあった仕事を見つけ就職する「就業力」を開花していきます。

- 学生生活支援
 - 学生寮、授業料免除、大学独自奨学金
- キャリア支援／キャリア教育
 - キャリア支援（就職支援行事と就職相談）
 - キャリア教育（授業におけるキャリアデザインプログラム）

本学が養成する<就業力>

- 異質な人々と協働・共生し、公共的な課題を
発見、**課題解決**ができる
- そのために**多様な知識やスキル**を身につけ、
組み合わせて自在に発揮する力
- 広い意味での「女性リーダー」を育成

能動的学修の在り方

キャリア支援

就職支援と進路相談

- 就職支援
 - 低学年から参加できるセミナー・ガイダンス
 - 3・4年生向け就職活動対策セミナー
 - OGとの懇談会・企業説明会(秋期)
- 進路相談
 1. 図書館キャリアカフェ(当日受付制)
低学年からのキャリアデザイン相談
進路・就職の情報提供
 2. 学生センター棟(予約制)
キャリアアドバイザーによる進路・就職相談

Career Cafe

～キャリアを描く、わたしの空間～



就職活動や進路のことなら、

キャリアカフェ 進路・就職相談へ

キャリアカフェでは、午後の時間帯に、
キャリアに関する個別アドバイスを実施しています。
進路・就職アドバイス、エントリーシートの添削、面接指導、
自己分析や業界研究、就職活動までの行動計画のアドバイスなど、
学生の皆さん一人一人のキャリアをサポートしています。
1年生から就職活動中の方まで、どなたでも参加可能です。
ぜひお気軽にご活用ください！

曜日・時間帯

月 火 木 金 13:00～17:00
※1人(1組)40分程度

月・金 進路・就職相談

- ・進路・就職に関するアドバイス
- ・面接指導、エントリーシートの添削 など

火・木 キャリアデザイン

- ・社会人になるまでの行動計画のアドバイス
- ・自己分析や業界研究のサポート など

場所

キャリアカフェ (お茶大図書館1F)

受付

当日、キャリアカフェまで直接お越しください。

お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

- ◆進路・就職相談 TEL:03-5978-5658 kishino.sachiko@ocha.ac.jp
- ◆キャリアデザイン TEL:03-5978-5726 shimodori.miwa@ocha.ac.jp

作田正明(学生支援室長)「お茶の水女子大学の学生支援」
高校教員等向けオープンキャンパス(2013.6.8)より抜粋

キャリアカフェ・ラーニングコモンズ 使用状況

毎日、何か
やっている

- お知らせ →
- 図書館について →
- 利用・サービス →
- 学習・研究サポート →

キャリアカフェ
予約はこちら

オンラインサービス
Online Service

教育・研究成果コレクション
TeaPot

お茶の水女子大学
デジタルアーカイブズ

お茶の水女子大学の
学術雑誌

お茶の水女子大学推薦
研究分野別文献案内

お茶の水女子大学
E-bookサービス

イベント情報

講習会など、附属図書館で行われる各種イベントのご案内です。

日時	内容	場所/主催
2013/06/11(火) 13:00-17:00	キャリアデザイン相談	図書館キャリアカフェ キャリア支援センター
2013/06/12(水) 12:20~13:10	企画展示タイアップ 羽入学長講演会	図書館キャリアカフェ 附属図書館
2013/06/13(木) 13:00-17:00	キャリアデザイン相談	図書館キャリアカフェ キャリア支援センター
2013/06/14(金) 13:00-17:00	進路・就職アドバイス	図書館キャリアカフェ キャリア支援センター
2013/06/17(月) 13:00-17:00	進路・就職アドバイス	図書館キャリアカフェ キャリア支援センター
12:30-13:10	図書館を使いこなそう! 2013 (基本編)	ラーニング・コモンズ 附属図書館
2013/06/18(火) 13:00-17:00	キャリアデザイン相談	図書館キャリアカフェ キャリア支援センター
12:30-13:00	図書館を使いこなそう! 2013 (論文探索編 国内論文コース編)	ラーニング・コモンズ 附属図書館
2013/6/19(水) 12:30-13:00	図書館を使いこなそう! 2013 (論文探索編 海外論文コース(SCOPUS))	ラーニング・コモンズ 附属図書館

ここ来れば
誰かに会える

キャリア支援との連携

「キャリアカフェ」設置経緯とその後の展開

- 現代GPの担当教員が候補地探し
 - 図書館から積極的にアプローチ、情報基盤センターの協力も得て設置
 - 無線LAN、雲形テーブル、椅子、ソファ、ドリンクサーバー(自販機)
→その後もテーブル等拡充、図書館入館者数が格段にUP
- キャリア支援の最前線
 - キャリアアドバイザーによる相談受付(2009年:のべ825名)
 - 「OG交流会」「企業説明会」等のイベント(2010年:17回)
 - 「自己分析体験」「就活生情報術」等のワークショップ(2011年:15回)
- 自主的な学びの空間、何役もかねる空間
 - 学生が集う共有の場として連日賑わう
 - レイアウト自在。ワークショップ型の授業やプレゼンの場としても活用
 - くつろぎの空間として「キャリアカフェボックス」を開設
→現在はLiSA(Library Student Assistant)の自主企画として継続

キャリア教育

キャリアデザインプログラム

女性リーダーのためのコンピテンシー開発

コンピテンシー

課題を発見し知識や技術を状況に応じて組み合わせ成果をあげる包括的能力とその行動特性

||

双方向的活動

最新の知識やスキルを身につけ、目的にあわせて使いこなす。他者や環境と双方向(インタラクティブ)な対話をし、新たな知識やスキルをつくりだす。

→ 言語・図表の活用力

→ 知識・情報の活用力

→ テクノロジーの活用力

+

自律的活動

複雑化する社会でアイデンティティを確立し、目標を設定する。権利を理解するとともに責任をもつ。自分の環境とその作用を理解する。

→ 大局的な行動力

→ 人生の設計・実行力

→ 権利・責任の理解力

+

協働的活動

自身とは異なる考えや価値観、信念や文化、歴史を持つ人々と尊重しあう。さまざまな対立等を解決し、協働で成果をあげる。

→ 人間関係の構築力

→ チームでの協調力

→ 対立の調整力

キャリアデザインプログラム科目群

分野	単位数	プログラム科目群で身につけるコンピテンシー	
お茶の水女子大学論	2	プログラムで育成する就業力を方向づける	
女性リーダーへの道(入門編)	2	双方向的活動	言語・図表の活用力
知能環境論	2		知識・情報の活用力
情報コミュニケーション技術と創発性	2		テクノロジーの活用力
女性リーダーへの道(実践入門編)	2	自律的活動	対局的な行動力
キャリアプランとライフプランⅠ / キャリアプランニングⅠ	2		人生の設計・実行力
キャリアプランとライフプランⅡ / キャリアプランニングⅡ	2		人生の設計・実行力
働く女性の権利と地位	2		権利・責任の理解力
共生社会で働く	2	協働的活動	人間関係の構築力
グループワークとマネジメント	2		チームでの協調力
女性リーダーへの道(ロールモデル入門編)	2		対立の調整力
インターンシップ	1	知識や技能を適切に組み合わせ、実践する	
キャリアプランニング実習	1	知識や技能を適切に組み合わせ、実践する	

作田正明(学生支援室長)「お茶の水女子大学の学生支援」
 高校教員等向けオープンキャンパス(2013.6.8)より抜粋

キャリア教育との連携

「LiSA」プログラムとお茶の水女子大学論での発表

- 「お茶の水女子大学論」の1コマ
 - LiSAについての事例報告(図書館スタッフ1名+LiSA学生2名)
- LiSA(Library Student Assistant)プログラムとは
 - 学生と図書館スタッフの協働による図書館活性化のための活動
 - 図書館での業務の体験を通し、幅広い資料に実際に接することによる学習支援に併せ、高い職業意識の形成や利用者としてサポートを受ける側からサポートする側になることによる**キャリア意識形成**などを目的に実施
- 期間と実績
 - 4月～9月、10月～3月 年2回募集
 - 2007年11月スタート(第1期:13名、現在第12期:35名)
 - 合計173名(のべ353名)が参加

キャリア教育との連携

「LiSA」プログラムとお茶の水女子大学論での発表

- 自主性を尊重するプログラム
 - 学生自ら、期間中40時間程度の業務計画を立てる(月はじめに業務計画表を提出
 - 申告した時間に業務
 - 期間終了後に実施報告書を提出(+図書館をよくする提案など)
 - 学長・図書館長連名による修了証を授与
- 主な業務内容
 - 書架整理、図書装備・修理、請求記号入力、IDラベル貼付
 - キャリアカフェ文庫の選書・運営
 - LiSAブログでの活動報告
 - LiSA自主企画(企画展示、図書館見学、就職説明会 etc...)

キャリア教育との連携

「LiSA」プログラムとお茶の水女子大学論での発表

LiSAをとおして体得できる
「**社会人基礎力**」

前に踏み出す力（アクション）

主体性・働きかけ力・実行力

考え抜く力（シンキング）

課題発見力・計画力・創造力

チームで働く力（チームワーク）

発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力

・規律性・ストレスコントロール

経済産業省<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/about.htm>

鷹野景子図書館長 「**経験は力**」

第12期LiSAキックオフミーティング

2013/6/14 16:30頃の キャリアカフェ



2013/6/14 17:00頃の キャリアカフェ



学生主導の
「出る杭マーケティング講座」
新しい商品開発

学生支援(学生寮)との連携 「お茶大 二つのコモンズ」

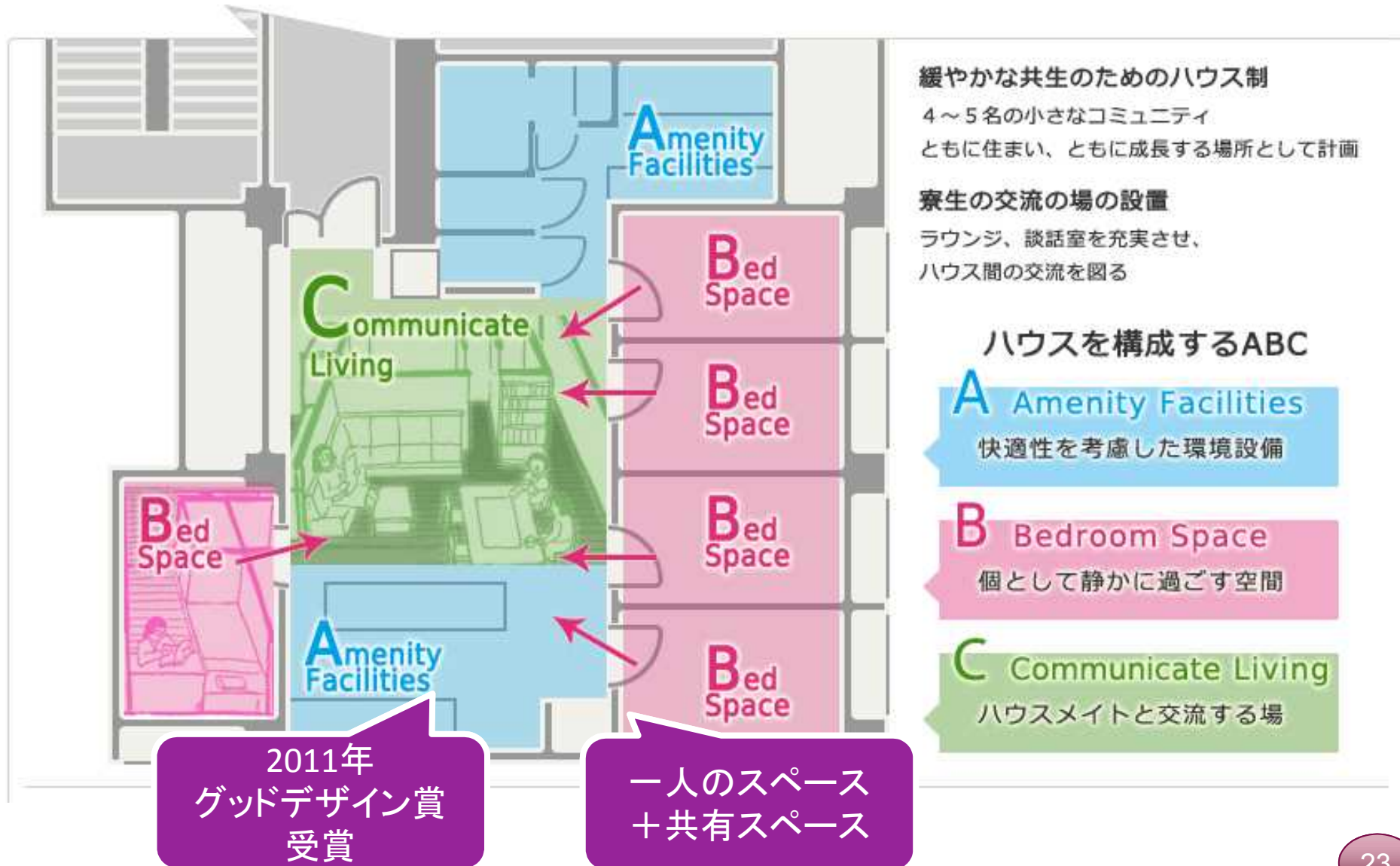
- お茶大SCC(Students Community Commons)学修プログラム
 - 羽入学長の講演「二つのコモンズ」(2013/04/13)
- 教育理念の共有と実践
 - 図書館のLearning Commons:
[共に学び・共に成長する]
 - お茶大Students Community Commons
[共に住まい・共に学び・共に成長する]
- リーダーシップ教育のキーワード “Migakazuba”
 - リーダーに必要な力=共にあることで育まれる
 - Respect for others(心遣い)／Intelligence(知性)／Confidence(しなやかさ)
- 図書館企画展示(2013.6-7)
 - 第24回「合言葉はCommons! —お茶大から広がるコモンズの世界—」
 - タイアップ企画:羽入学長講演会(2013/06/12)

同じ“コモンズ”として連携協力？

知的成長を促す



Students Community Commons



緩やかな共生のためのハウス制
4～5名の小さなコミュニティ
ともに住まい、ともに成長する場所として計画

寮生の交流の場の設置
ラウンジ、談話室を充実させ、
ハウス間の交流を図る

ハウスを構成するABC

A Amenity Facilities

快適性を考慮した環境設備

B Bedroom Space

個として静かに過ごす空間

C Communicate Living

ハウスメイトと交流する場

附属図書館企画展示タイアップ講演会 「お茶大 二つのコモンズ」

8. まとめとメッセージ

- 「<関わり>の<場>があってはじめて、人は有能になれる。」※)
- **それが ‘Commons’ !**

国立女子大学としての社会的役割を果たすためにも、お茶大附属図書館が、「共に学び」「共に成長する」場として、第三のステージを展開することを期待しています。

そして、図書館の新たな展開が、お茶大の発展を加速させる力になりますように！

※)伊藤守「3分間コーチ ひとりでも部下のいる人のための世界一シンプルなマネジメント術」
ディスカヴァー・トゥエンティワン(2008/3/13)より

「お茶大 二つのコモンズ」 参加学生LiSAからの声

「共に学び、共に成長する」こと、多くの人々と共に生きる
ことの大切さはもちろんわかります。

ただそれが、全ての人々がこれから向かう方向と歩調をまっ
たく同じように合わせることを強制するような、誰かがそ
の共同体からはみ出さないように誰もが互いに監視し合
っているような形の共同ではなく、あくまで**個々人の自由
と自立に基づいた上で、互いの創造力を生かし合えるよう
な場を作るために人々が手を携える**というのは、本当に、
その**構成員たちの自発性と向上心がなくては実現されな
いこと**なので、実現するのはきっと大変なのだろうなと思
いました。

「お茶大 二つのコモンズ」

参加学生LiSAからの声(続き)

大学がそのような高い理念を掲げ、それを実現するために施設やシステムを充実させようと日々努力していることを、学生側ももっと認識すべきだと思いました。

今まで、ochamailなどで、「こんな新しい制度が始まりました」とか「大学のここが変わりました」という情報が来ても、わたしは、それが自分自身の学生生活に実質的に関わるものとは捉えず、単なる事務上のお知らせとしてしか捉えていませんでした。

しかし今日、それらの制度改革や新しいシステムの導入は、「共に学び、共に成長する」という理念を背景としているのだと知り、もっといろいろなシステムを積極的に活用しておけばよかったなと気づきました。

図書館であることの意味

- 学生・キャリア支援センター 亀山先生、岸野さんへのインタビュー
 - 図書館で実施することの意味？
 - **図書館の立地**：学生の動線の中心であり、シンボリックな意味を持つ。
 - **広報的な効果**：普段目にするスペースで実施することに意味がある。場所を含めて風土作り。学生同士の交流の場。
 - **場の特色に応じた使い分け**：学生センター棟は予約制の相談と、就職に関する情報収集の場。図書館のキャリアカフェと連動しながら、相互補完的に機能。
 - キャリアカフェ文庫に新しい動き？

図書館であることの意味

- 茂出木前々TLへのインタビュー
 - 単なる場所貸しにならない？
 - 学内連携というキーワードについて思うこと：現・お茶大のキャリアカフェの使われ方が変化していても、当初の基本コンセプトである「**自律した学生を育てるのがお茶大の使命**」という部分は変わらず根底にあるのでは
 - 学内の各部署、特に時限のあるプロジェクトの場合、確実な成果をあげるというのが一つの目標になり、そのためにそこそこうまく稼働している図書館が場として活用されるということはあるだろう
 - **大学全体の益を考えたときに「そのどこがいけない？」**

「図書館の高度化」が目的なのではない

「出る杭」を育てる

- 学生支援GP事業責任者(当時)三浦先生のインタビュー記事から
 - 「出る杭」に期待する
 - 「出る杭」と聞いて皆さんはどんなことをイメージしますか? 「目立つようなことをする人、すること」、「出る杭は打たれる」というように余計なことをする人、などと悪いイメージがあるかもしれません。
 - しかし企業が実際に求めている人財は、「出る杭」なのです。
 - 自発的に問題に取り組む人、粘り強く問題を解決する人、難しい課題にチャレンジする人、など企業はまさに「出る杭」を求めています。
 - 「出すぎた杭は打たれない」
 - 松下電器産業(現・パナソニック)創業者 松下幸之助

「出すぎた杭」であるためには?

新しい価値の創出

- ラーニング・コモンズ、キャリアカフェ誕生の頃
 - 徹底した意識改革・意識共有
 - 「**図書館は学生のために何ができるか**」
 - 「**前例がないからこそやる**」
 - 機動力と実績の積み重ね
 - 大学内外の動きにアンテナ
 - 学内の「困った」に具体的な解決策を
 - 自ら考え行動するスタッフの育成
 - チーム全員が当事者であるために
 - 日々のルーチンも大切／先入観にとらわれない
 - マネジメント的観点
 - トップダウン／ミドルアップダウン／ボトムアップ



新しい価値の創出

- 発想の転換
 - 図書館機能高度化のための学内との連携・協働
→大学の理念実現のための図書館多機能化／連携・協働
「図書館が変わるのは目的ではなく手段」
- 視点の転換
 - 「学修(学習)・教育・研究」支援
→「学生・教育者・研究者」支援
「行為ではなく人を支援する」
- 意識の転換
 - 支援者としての生き方＝裏方？
→支援者が主役のドラマがあっただけいいのでは
そこに「喜び」があること
「新しい価値は人と人のつながりから」



参考

- 大学設置基準

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S31/S31F03501000028.html>

(社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制)

第四十二条の二

大学は、当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ、**学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。**

※「大学設置基準及び短期大学設置基準の改正について(諮問)」

中央教育審議会(平成22年1月29日)を受けて追記

※厚生補導＝キャリア支援

※教育再生会議等の影響なども要チェック